



【大喜びの良い知らせ】

聖書:ルカの福音書2章8-14節 /暗唱聖句:マタイの福音書1章23節

説教者:鄭南哲牧師

メリークリスマス！今日もクリスチャンプレイズチャーチの礼拝&クリスマス会にお越し下さったみな様に心より感謝を申し上げます。今日はクリスマス礼拝としてささげています。クリスマスといえば、人々は‘クリスマスツリー’、‘プレゼント’、‘ケーキ’、‘キャロル’、‘サンタクロース。’などを思いうかびます。

1. 喜びの良い知らせというのは救い主がお生まれになったことです。

愛するみなさん!クリスマスが一番大切なことはなんですか。それは‘イエスキリストの誕生’です。

クリスマスの原語の意味もそうです。‘キリスト(Christ)+敬拝(けいはい),ミサ(Mass)’の合成語(ごうせいご)です。

つまり イエス様に礼拝する。ということです。

世界で一番の金持ちはアメリカのロックペラー(Rockefeller)だそうです。彼は33歳に百万長者になり、43歳にはアメリカで一番大きい会社を持ち、53歳に億万長者になって世界最大の金持ちになりました。ところが、彼は髪の毛と眉毛もぬげ、体はやせていき、麻痺し、ねじまがるアロピシャという(alpecia)病気にかかかってしまいますが、54歳の時、主治医から“これから1年を越えなさそうです。”と言われ渡されます。ロックペラーはそれを聞いて食べることも、眠ることもできず、悩んだ末、“人生というものはお金で買うことはできず、ただ神様がおさめておられる”ことを悟られました。その後、彼は次の日曜日教会に通い始め、まことのクリスチャンとなりました。不思議に彼は教会に通い始めてからよく食べ、よく眠れまして、医者らは彼が55歳を越えないだろうと言いましたが、彼はなんと98歳まで生きることができました。今日神様にクリスマス礼拝をささげるために来られたみなさんにもロックペラーのような祝福に預かりますよう心からお祈り申し上げます。

ベツレヘムの羊飼いたちに天使があらわれてすばらしい知らせを伝えました。10節で、“御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。”,14節に“いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。”

‘すばらしい(大)喜びの良い知らせ’を英語の聖書では‘the good news’だと訳されています。これが‘福音’です。それでは、喜びの良い知らせは何ですか。

“御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。”

イエス様がお生まれになったのがなぜ大喜びの良い知らせですか。

それはイエス様が私たちの救い主だからです。2000年前、ダビデの町、つまり、ベツレヘムに来られたみどりごイエス様は私たちの救い主として来られました。イエス様がお生まれになるとき天使ガブリエルが神様の御言葉を宣べました。

“マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救って下さる方です。(マタイの福音書1:21)”

イエスと言う名前の意味は‘我々を罪から救い出してくださる救い主’という意味です。イエス様は我々を罪から救うためにこの地に来られました。イエスキリストはすべての民、全人類の救い主です。あらゆる部族と身分と、人種を乗り越えます。クリスマスは我々を罪から救うために神様が人間の姿で現れた日です。ですから、クリスマスが一番大切なことはイエス様が我々を罪から救うためにこの地に来られたと言う事実です。これがまさに大喜びの知らせです。

マルコの福音書10:45「人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちをあたえるためなのです。」

宮廷ではなく、普通の庶民でさえ使わない、馬小屋で、人間のすがたで、しかもいちばんよわいみどりごの姿でこの地に来られたイエス様を黙想しながら、自分自身をかえりみる時間をぜひとるように切にお祈り申し上げます。

2. イエスキリストは私たちの希望です。

イエス様が生まれたことは私たちに希望を与える喜びの知らせです。

私たちにとって一番のプレゼントです。私たちが取り交わすプレゼントというのは実際、時間がたてば、ふるくなり、なくなってしまいます。どんなにいきがよいきれいな花束だとしても、時間がたてば、ゴミ箱に捨てられます。しかし、神様が私たちに与えるプレゼントは永遠に変わらないプレゼントです。昨日も今日も永遠まで同じです。ですから、イエスキリストは私たちの希望であると聖書は言われています。“どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、すなわち、私たちが愛し、恵みによって永遠の慰めとすばらしい望みとを与えてくださった方ご自身が、あらゆる良いわざとことばとに進むよう、あなた方の心を慰め、強めてくださいますように”(第二テサロニケ 2:16)

3. イエスキリストは我々とともにおられるインマヌエルの神です。

希望を与えてくださるそのイエスキリストが我々とともにおられることを忘れないでください。

イエスキリストは今から2011年前、ベツレヘムやイスラエルだけに限っておられたわけではありません。クリスマスの時だけおられる方ではありません。それとも私たちになにか問題があるときだけ一緒におられる方ではありません。勘違いしないで下さ

い。イエスキリストはいまなお私たちとともにおられる方です。これがまさに大喜びの良い知らせなのです。自分にとってどんなに大事な宝物だとしてもいつまでも自分とずっと一緒にはできません。一年、一年生きると言うことは愛する家族とも、親、子供たちもいつかは離別する日がそれほど近づいてきたと言う意味でもあるでしょう。しかし我らの主イエスキリストはいつも私とともにおられ、さらに絶対的に必要な方ですので、一番すばらしいプレゼントになるのです。

聖書は言っています。マタイの福音書1章 23節に、「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)

ですから私たちが信じているインマヌエルのイエス様は教会内で礼拝し、賛美する時だけではなく、時には私たちが罪の座に座しているときも、私たちのため悲しみます。職場でも、汗をかけながら農作する時も、家で皿洗いをし、家族をかえりみる時も、運転をするときも、さびしく、くるしんでいるときだけではなく、うれしいときや感謝する時もいつもわたしたちとともにおられる主です。主は我々を絶対にはなしません。いつも私たちのそばにいて私たちに勇気を与え励ましと知恵と力を与え、罪から自由にさせてくださる神様であることを信じましょう。

4.イエスキリストは真の平和の主です。

愛する信仰の家族のみなさん!この世はいまもたえず争いと紛争が起こっています。イギリスの [平和のなかの戦争]という報告書によると世界第一戦争では千万人以上が亡くなり、第2の戦争から5000万人が亡くなり、いまもイラクをふくめて中東、アジア、アフリカなどでの紛争によって3500万人が亡くなったそうです。第二次世界戦争以後100カ国で130件の紛糾があり、今年の後半から始まった不景気によっておおくの人々が苦しんでいます。

いままでの3000年の間、地球にはおよそ3300回ほどの戦争がありました。アメリカと旧ロシアの軍備競争が真っ最中のときは両国が持っている核弾頭は地球を41回も破壊するほどのおそろしい量でした。いまも地球村では毎日35,000人くらいが飢えで死んでいます。世界の国々が戦争の準備や勢力拡大のために使っているお金は年間5500億ドルに至ります。戦争に消耗する莫大な経費と物資を人類の平和と福祉のために使うならいかに有効に用いられるのでしょうか。この戦争がこの地上で完全に決着をつける日はいつ頃でしょうか。こんにち人類に一番必要であり、大切なのはなんでしょうか。それは平和です。

クリスマスを迎える世界の人々は世界の平和を切に求めています。私たちもそうではないでしょうか。神様は人類の一番切実な願いは平和であることをご存知でした。そういうわけでひとり子イエスキリストをこの世に送ったのです。しずかな夜空で天使たちが叫んだように、イエスキリストがこの地に来られたのは“天には栄光、地には平和”そのものだったのです。2000年が過ぎたいまでも全人類にイエスキリストの到来は一番の喜びの良いお知らせとなっています。

“ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。”

(ローマ書5:1)、第一コリント人への手紙 14:33 -“神が混乱の神ではなく、平和の神だからです。”

エペソ人への手紙 2:14 “キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし。”

コロサイ人への手紙1:20 “その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、ご自分と和解させてくださったからです。地にあるものも、天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。”

そのイエス様がきょう私たちにこのように言われます。

“わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。”(ヨハネの福音書14:27)

クリスマスはこの世の何よりもかえがたい尊いプレゼントが人類に与えられた日です。天使のように私たちも伝えましょう。

“恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。今日ダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。”(10-11節)

神様が私たちにくださった一番のプレゼント、一番喜びのお知らせつまり私たちを救うために来られたイエス様に出たら、罪の問題が赦され、救われます。イエス様は私たちに永遠の希望を与え、インマヌエルとなっていつも私たちとともにおられます。イエス様にまことの平和があります。

2011年 6月まで全世界人口は 6,972,108,166人に推定されています。毎日生まれる人は227,881人で、毎日この世を去る人は 99,568人だそうです。いまなお様々なやまい、交通事故、戦争、台風、地震、災害などによって多くの人々が死んでいるし、これからも続くでしょう。死と言うのは老若男女を問わず、貧富の貴賤を問わず、時と場所を問わず、予告もなしにやってきます。それにもかかわらず人々は死と言うのは自分とは関係ない他人事のように考えたり、死について考えようとしません。しかし、死というのは決して他人の話ではなく我々みんなが例外なくかならず体験されるべき現実です。神様が呼べばだれも変えることも避けることもできません。

人生の死から、罪から、恐怖から、不安から、嵐のような様々な問題からまことの平安と平和を必要ですか。願っていますか。今年の降誕のクリスマスの季節！ イエスキリストから与えられる真の平和を慕い求め、みなさん一人一人の人生の上に、そして、我々の家庭の上に、クリスチャンプレイズチャーチの集っているすべての人々の上に豊かに与えられますように主の御名によって祝福します。アーメン！